

## 活用例 2 学齡期②

お子さんの年齢	11 歳（小学 5 年生）
---------	---------------

### 【ファイルを使ってみて】



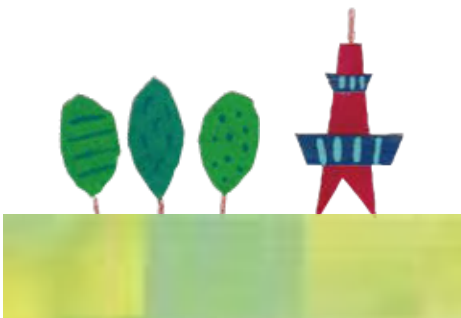
保護者

- 担任と本人の課題について十分に話し合うことができました。担任の助言で支援方法をまとめることができました。
- 資料を学年の他の先生方にも見ていただき、学年全体での活動でも、本人の特性を理解して対応してもらえることが増えています。
- 子どもの課題を整理することができ、家庭でも、ゆとりを持って対応できることが増えました。本人に厳しく対応することが減っています。

- 本人の特性を踏まえて、今後の目標を確認できました。課題を意識して指導することができるようになっています。
- サポートファイルは卒業まで使用し、中学校への引き継ぎに活用する予定です。



担任の先生



現在の様子（取組や本人の状況）－学校－

記入年月日： 平成〇〇年5月1日

年齢： 11歳5年〇組

学校名： 〇〇小学校

記入者名： 〇〇（保護者）

学校での様子	
習慣 基本的な生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことは概ね一人で行うことができますが、整理整頓は苦手です。声をかける必要があります。</li> <li>・授業中、学習に興味をもてない時は、姿勢が崩れることがあります。</li> <li>・忘れ物が多いため、学校と協力しメモをとることができるよう練習中です。本人も気をつけようとしている姿が見られるようになってきました。</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な会話はできています。</li> <li>・友人と遊ぶことが好きですが、会話の前後関係や状況を正しく解釈できないことがあり、友人に反発することがあります。</li> <li>・頻繁ではありませんが、自分の気持ちを整理して話せず、黙ってしまうことがあります。</li> </ul>
学習の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の学習に意欲的です。家庭でも、歴史や地理にかかわる本を進んで読んでいて、知識が豊富です。</li> <li>・学年相応の文字の読み書きはできますが、作文の内容を一人で考えることが苦手です。</li> <li>・学習の準備、机上の整理、板書をノートに書き写す等は声をかけて取り組みを促す必要があります。</li> <li>・図工、家庭科、作図等の手先を使う活動では、支援が必要です。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことは全般的に苦手です。特に、リズム運動や縄跳びは取り組もうとしないことが多いです。</li> <li>・集団で行うゲームなどのルールを理解するまでに時間がかかることが多いです。</li> </ul>
興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読むことが好きです。図書館で頻繁に本を借りて読んでいます。</li> </ul>
その他	

## サポートプラン

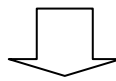
作成日：平成〇〇年5月1日

作成機関名：

記入者名：〇〇（保護者）

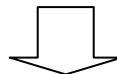
現在の様子	
<ul style="list-style-type: none"><li>・笑顔で生活していることが多いが、友人と言い合いになることがあり、感情が高ぶると落ち着くまでに時間がかかることがある。</li><li>・生活のルールを守って行動しているが、気になることがあると、今すべきことを忘れてしまうことがある。</li><li>・手先を使った活動への苦手意識が強く、集中して取り組むことが難しい場面がある。</li></ul>	
支援に生かすことのできる本児のよさ	
<ul style="list-style-type: none"><li>・興味のもてる課題には意欲的に取り組むことができる。</li><li>・他者とかがかわることが好きである。</li><li>・礼儀正しい。</li></ul>	
本人や保護者の願い	
<ul style="list-style-type: none"><li>・気持ちを落ち着けて、楽しい学校生活を送ってほしい。（母）</li><li>・友人と仲良く遊びたい。（本人）</li><li>・もっと勉強ができるようになりたい。（本人）</li></ul>	
長期目標	支援の手だて
目標達成の目途（小学校6年生頃までに）	
<ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニケーションの力を高める。</li><li>・落ち着いて行動できるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本人なりの表現を受け止めながら、適切な文例を簡潔な言葉や文章で示すなどして、状況に応じた適切な会話の仕方を指導する。</li><li>・事前に活動の内容を予告し見通しをもたせ、相手の心情を伝えたりしながら、気持ちをコントロールする方法を指導する。</li></ul>

短期目標	支援の手だて
目標達成の目途（ 小学校5年生9月 頃までに）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる表現を身につける。</li> <li>・課題に集中して取り組める時間を長くする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の大人が本人の気持ちを十分に聞き取り、理解したことを本人に伝える。相手の気持ちや考えを伝えながら、より良い表現を伝える。</li> <li>・座席の配置を工夫する。課題に取り組む前に時間の目途を伝える。達成できたときは、賞賛する。</li> </ul>



成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イライラしていても、母親や教師に自分の気持ちを伝えることができるようになってきた。十分に落ち着くと、大人からの提案を聞き入れることができている。今後も継続して、適切な対応を伝えていく必要がある。</li> <li>・授業中は声をかけると集中が続くことが多かった。忘れ物が続いているため、メモをとる練習を継続するとともに、今後は指示を伝える前に集中を促していくことが必要である。</li> </ul>

短期目標	支援の手だて
目標達成の目途（ 頃までに）	



成果と課題